令和７年度　情報教育推進委員会

「これからの学び」を支えるICT活用 ～探究的な学習における、子どもたちが選択・決定しながらすすめる学び～

【委員】
岩﨑　健治（下柚木小学校　校長）　鈴木　崇央（高尾山学園　校長）
杉本　亮（南大沢小学校　副校長）　冨倉　潤（ひよどり山中学校　副校長）
牧嶋　敦史（第七小学校　主任共有）　田上　璃乃（第八小学校　教諭）　小野寺　崇（上壱分方小学校　教諭）
土屋　駿（由井第一小学校　教諭）　西澤　信子（中山小学校　主任教諭）　福田　佳祐（いずみの森義務教育学校　主任教諭）
松平　祐介（第二中学校　主任教諭）　斉藤　康太（由井中学校　指導教諭）　木村　裕亮（打越中学校　教諭）
井戸　季詠子（いずみの森義務教育学校　主幹教諭）

１．これからの学びとは…



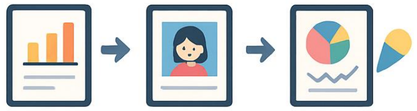
子どもたち一人ひとりが、能力や特性、興味・関心に応じて、自分に合った学び方を選択、決定しながら進める学びが「これからの学び」です。
誰と学ぶのか、何を使って学ぶのか、どのようなペースで学ぶのか、時に何を学ぶか、ということを子どもたちが選択・決定しながら学習を進めます。このような学習を展開する上では、ICTの効果的な活用は欠かせません。また、「伴走者」としての教師の役割も重要になっていきます。

２．探究的な学びとは…



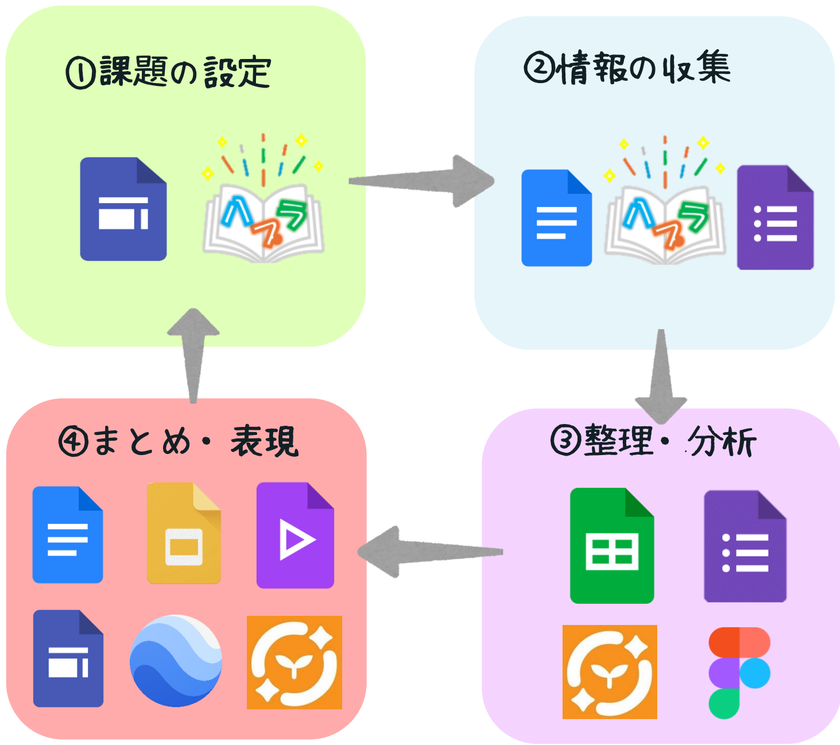
子どもたちが、自分で問いを見付け、考えを深め、仲間と協働しながら新しい価値を生み出す学びが「探究的な学び」です。
学習指導要領解説 総合的な学習の時間編では、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」のサイクルが示されています。

３．ICTを活用することで…



ICTの特性・強みとして、
①大量の情報の取扱い、容易な試行錯誤
②時間的制約を超えた情報の蓄積、課程の可視化
③空間的制約を超えた相互かつ瞬時の情報共有
が挙げられます。この強みを教師だけでなく、子どもたち自身が意識し、活用できることが大切です。

４．探究的な学習における学習場面ごとに活用できる主なソフトウェア



５．各ソフトウェアの機能と想定される活用場面

	Google ドキュメント	図や画像、文章で情報をまとめたり、話し合いの内容を音声で記録したりすることができる。	情報の収集 まとめ・表現
	Google スプレッドシート	アンケート結果の集計とグラフの作成を行うことができる。シートを工夫することで、ポートフォリオとして振り返りをまとめ、教師がフィードバックを行うこともできる。シートを分けることで他者参照にも活用できる。	整理・分析
	Google スライド	スライドを作成してプレゼンテーションを行うことができる。共同編集の設定をすることで他者参照を行ったり、ノート代わりに使用したりすることもできる。	まとめ・表現
	Google フォーム	アンケートを作成し、情報の収集や分析を行うことができる。	情報の収集 整理・分析
	Google ビズ	動画の編集機能を活用して、オリジナル動画を作成できる。	まとめ・表現
	Google サイト	オリジナルホームページを作成できる。また、必要な情報を精選して提示することもできる。	課題の設定 まとめ・表現
	Google アース	世界中の場所の様子を、現地の映像を見て確認できる。また、プロジェクトを作成後、地図上にピンをさし、成果物のリンクを貼ることで、成果物として扱うこともできる。	まとめ・表現
	オクリンクプラス	思考ツールを活用した情報の整理や、スライドの作成ができる。「みんなのボード」を使うことで他者参照にも活用できる。	整理・分析 まとめ・表現
	Figjam	アイデア出しや話し合いを、付箋や図を使いながら複数名で同時に行うことができる。	整理・分析
	ハプラ	子どもたちが参加できるイベントや、八王子の歴史・文化・地元企業の情報、市立学校教員の授業動画など、教育に関する情報を閲覧できる。	課題の設定 情報の収集

ICTを活用した総合的な学習の時間（探究的な学習）の指導事例

選 児童・生徒が選択・決定する場面

小学校

単元の紹介

この単元では、蚕の飼育を通して生き物の育ちや地域の伝統産業である養蚕について学びます。観察したことをもとに児童一人ひとりがテーマを設定し、情報収集の方法や整理・分析する方法、まとめ・表現する方法を選択しながら学習を展開します。

教師の指導	児童の活動
児童が興味・関心をもてるような画像、映像、サイトなどの情報を、事前にまとめておき提示する。（Googleサイトなどを活用）	養蚕の流れを動画で見たり、幼虫を観察したりして、気付いたことを出し合う。
児童の気付きや意見を一覧で表示し、他者参照できるようにする。また、出た意見を整理する。（ Googleフォーム・スライド、Figjamなどを活用）	思考ツール等を活用して、気付いたことを整理し、学習課題を考える。
	班ごとに調べたいテーマ（例：歴史、使用する道具、仕事、地域とのつながり 等）を選択し、学習の計画を立てる。（選）
児童のやりたいことや学習状況に応じて、どのような方法で情報収集をすればよいのかを指導する。	さまざまな方法で情報収集をする ・郷土資料館の展示や学芸員の話を聞く。 ・養蚕農家・地域の方へのインタビュー ・インターネットや書籍（選） ※デジタルツールを活用し、互いの学習内容や進捗状況等を参照し合い、自分の学習に活かしたり、共に学習する相手を見つけたりする（個人で取り組むか、仲間と取り組むかを、場面により選択する）。
モニター等を使用し、各班の取組状況や進捗状況を互いに確認できるようにしておく。 写真・動画撮影、共有フォルダなどの使用方法についても適宜、指導する。	
個人または班ごとのファイルを作成し、共同編集できるように設定する。	Googleドキュメント・スプレッドシート・スライド、オクリンクなどのデジタルツールを活用し、調べた情報をまとめる。（選） 班ごとに「分かったこと」「まだ調べたいこと」を話し合い、学習を深める。
成果物で使用する情報の著作権や引用の仕方を確認する。（Googleスライド、動画、オクリンクプラスなどを活用） 成果物の作成に向けた進捗状況を把握し、適宜指導する。	自身の学習成果が最も効果的に伝わる形式（壁新聞やレポート、スライド、動画等）を選択し、調べたことをまとめる。（選） 学級や学年で成果を発表する。 単元の学習を振り返り、学んだことを伝え合う。

中学校

単元の紹介

この単元では、郷土 八王子の魅力について多面的に学習します。単元を通してGoogleアースを使用し、生徒一人ひとりが設定した学習課題と関連する地点にピンを立て、そこに成果物を貼り付けることで、学級や学年全員で地図を作成します。計画からまとめまでデジタルツールを活用し、一人ひとりの学びの過程を可視化するとともに、情報収集の方法やまとめ・表現する方法を選択しながら学習を展開します。

生徒の活動	教師の指導
八王子市の地域資源（文化、自然、人物、歴史等）から探究するテーマを選択し、そのテーマに関する学習課題を設定し、学習計画をたてる。（選）	事前にプロジェクトを作成し、クラスルームに掲載しておく。 教師が事前にGoogleアース上にピン付けを設定しておき、それを参考にするよう指導する。
Googleアース上で学習課題と関連する場所（地点）にピン留めし、全体で共有する。	一人ひとりのピン付けした場所や学習計画を見合うことで、自発的な協働の機会を創出する。
さまざまな方法で情報収集をする。 ・図書館で文献調査 ・八王子市のデジタルアーカイブ、オンライン博物館等 ・関連機関へのオンラインインタビュー ・フィールドワーク（選） ※デジタルツールを活用し、互いの学習内容や進捗状況等を参照し合い、自分の学習に活かしたり、共に学習する相手を見つけたりする（個人で取り組むか、仲間と取り組むかを、場面により選択する）。	Googleアースのリンクから生徒の学習状況をリアルタイムで把握し、必要な生徒に支援する（コメント機能の活用）。 Googleスプレッドシート等の振り返りも活用しながら、生徒一人ひとりの学習状況に応じて指導する。
思考ツール（マインドマップ、比較表等）を活用し、収集した情報を構造化する。	生徒の学習状況に応じて、どのような方法で整理・分析をすればよいのかを指導する。
共同編集機能を活用し、他者からの視点を取り入れることで、学習改善を行う。	
自身の学習成果が最も効果的に伝わる形式（レポート、スライド、動画、Webサイト等）を選択し、成果物を作成する。作成した成果物は、指定されたGoogleアース上のピンの箇所に、リンクを貼り提出する。（選） ※紙の成果物を作成した場合は、写真を撮影し、掲載するなどの方法をとる。	成果物の作成に向けた進捗状況を把握し、適宜指導する。
生徒同士で成果物を共有し合い、単元の学習を振り返る。	

課題の設定 → 情報の収集 → 整理・分析 → まとめ・表現